

伝説と偉人ゆかりの地 散策コースの主なみどころ



竜宮神社

MAP: 1



竜宮城より帰郷した太郎が乙姫を偲(しの)んで、825年(天長2年)7月に建立しました。



メガソーラーたけとよ

MAP: ★

中部地域では最大規模の太陽光発電所。年間約3,400tのCO₂の削減効果があります。



●年間発電量：約730万kwh (※一般家庭2,000世帯の年間使用電力に相当。)
※見学ご希望日の原則1か月前までに、電話でお申し込み下さい。
中部電力(株)武豊火力発電所 業務課 専用電話 050-7772-5372
受付時間 月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00～12:00、13:00～17:00



乙姫橋

MAP: 2



竜宮城へ向う太郎を乙姫が出迎えた場所といわれています。

森万新田

MAP: 3

森田萬右衛門が村議会議員の時に村内の田の拡大をするべく、私財をもなげうち海を干拓した新田跡。右の写真のヨットの停留場の西側一帯。現在は住宅地になっています。



負亀の松

MAP: 4



太郎が助けた亀が住んでいた所。昔、この辺りは白砂の海岸で、浜辺には松が生い茂っていたそうです。また、負亀(おぶがめ)は富貴(ふき)の地名の古名ともいわれています。

浦島橋

MAP: 5

太郎はこの下を流れる浦島川に沿って、亀と共に竜宮城に向かいました。



四季咲きカキツバタ

MAP: 6

弘法大師がこの地を訪れたとき、ここが浦島太郎誕生の地であると認め、記念にカキツバタを植えました。それが四季咲きとなり、年中花が咲き乱れていたそうです。現在は、石碑のみが残っています。
※私有地のため敷地内への立入りはご遠慮ください。



知里付神社・浦島社

MAP: 7



太郎が竜宮城から持ち帰った玉手箱があります。「あけずの箱」といわれ大切に保管されています(非公開)。また境内には浦島社も祀(まつ)られています。

真楽寺

MAP: 8

建立:1570年(元亀元年)。境内に、太郎の助けた亀のお墓があります。



亀のお墓

円観寺

MAP: 9



円観寺は、室町時代の建立で白雲山円光坊と呼ばれました。富貴城落城後、1574年(天正2年)にこの地へ移設され円観寺と改められました。護摩堂には珍しい、断酒絵馬、断賭博絵馬等が掲げられています。一説には富貴の開拓の父「森田萬右衛門」が村長時代に、乱れた村内を直そうと村人に奉納を勧めたのが絵馬の由来といわれています。

電話 0569-72-0511 ※絵馬の見学は事前申込みが必要です。

白山社(富貴城址)

MAP: 10

富貴城は、室町時代後期に長尾村の長尾城主「岩田氏」が築城。戸田氏(河和)からの侵入に備えた支城でした。



白山社

戦国時代に入り岩田氏が衰退し、戸田氏の配下になり、戸田法雲が城主となりました。

戦国時代の中期には、織田・水野軍により灰じん落城しました。白山社は寛文以降享保年間までに、円観寺境内より富貴城本丸跡とされる現在の場所へ移築されました。

武豊町役場富貴支所(萬右衛門像)

MAP: 11

富貴支所前には村の発展に尽力した森田萬右衛門の像があり富貴地区を見守っています。

教福寺

MAP: 12



1555年(弘治元年)広目境に建立。1612年(慶長17年)にお堂を焼失し、1671年(寛文11年)に現在の地へ再建されました。森田萬右衛門家の菩提寺であり萬右衛門ゆかりの寺。萬右衛門の書(額)などが保存されています。また、近年改築され、本堂の軒には立川流による「豊干禅師」(ぶかんぜんじ)の彫刻があります。

電話 0569-73-0194 ※萬右衛門の書(額)の見学は事前申込みが必要です。

小桜稲荷

MAP: 13

小桜姫の霊を弔(とむら)った塚のあった所といわれています。小桜姫伝説ゆかりの稲荷です。

浦島太郎伝説

太郎は浦之嶋(東大高)に生まれた。浜辺で子どもたちにいたずらされている亀を助け、蓬莱(竜宮城)に案内される。

竜宮城でもてなしを受けること三年、あけずの箱を手みやげに帰郷した。竜宮城での三年間は、この世では数百年を経ていた。うめきが浜(美浜町布土)で、あけずの箱を開け白い煙とともに太郎はたちまち白髪の老人となった。

太郎は、知里付神社に「あけずの箱」を献納し、亀の鬼瓦を上げた。里人は太郎を敬い知里付神社境内に浦島社を祀(まつ)った。

小桜姫伝説

小桜姫は京都の宮中の姫君で、公家の藤原氏と将来を誓う仲であった。ある日、帝の夢に国の安穩のため小桜姫を岡崎の築山稲荷の尼にせよと告げがあった。姫は帝の命に背き、二人は意を決し京より、富貴の里まで落ち延びた。途中、姫は病の身となってしまふ。二人は里人の下に身を潜めていたが、追っ手により藤原氏ついに富貴城の堀端で最後を遂げた。

病の身であった姫も里での療養の間に藤原氏の後を追いついてしまった。里人は悲しみ、姫をねんごろに葬り塚をつくった。しばらくの間、雨の降る夜に塚より富貴城へ火の玉が向ったという。その後、この塚を参ると願いがかなうとして小桜稲荷となる。



小桜稲荷

森田萬右衛門の偉業

萬右衛門は、1852年(嘉永5年)富貴村の農家に生まれた。幼少の時には亀太郎といい、村の円観寺の寺子屋で二宮金次郎の話に感銘を受け、世の中に役立つ人になることを誓ったという。

37歳で村議会議員になった時、綿密に計画を立てて熱心に人々を説得して回り、ついに議会を動かして、森万新田とよばれる新田の開発に成功する。

また、萬右衛門は新しい農業の方法を積極的に取り入れた。「短冊型なわしろ」といって、それまでの「べたまき」に比べるとずっとすぐれた方法だった。彼は、反対する人に対して真心をこめて説得して回り、やがてその方法のよさが分かった農民から大きな尊敬を受けるようになった。萬右衛門は木曾川からの用水の必要性も説いた。亡き後も大府市の久野庄太郎氏らに意志は引き継がれ1961年(昭和36年)に愛知用水が導水されることとなる。1834年(昭和9年)83歳で亡くなるまで萬右衛門はいつも人々のことを考えていたという。



萬右衛門像(富貴支所前)

* 武豊町富貴アクセスMAP *

■ 自家用車・タクシーで

お越しの方へ(名古屋方面から)
名古屋高速道路、知多半島道路を利用し、武豊I.C.を経て武豊町富貴まで約70分

■ 駐車場は MAP: P

子育て支援施設わくわく(富貴駅を西へ行った富貴小南交差点角)をご利用ください。

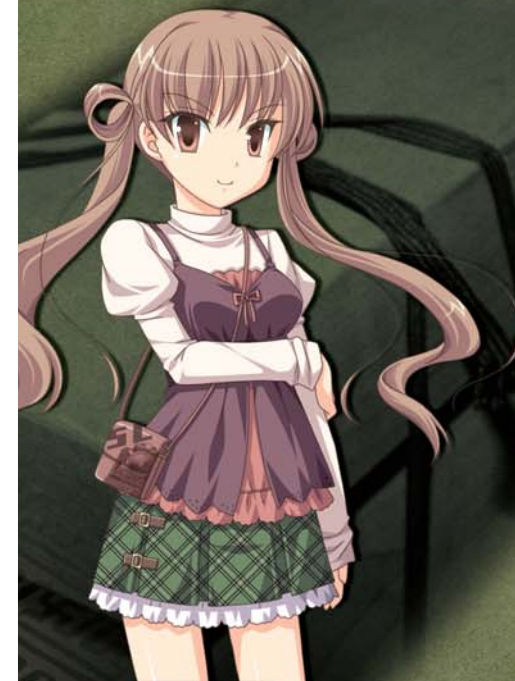
■ 名鉄でお越しの方へ

「名鉄名古屋」駅から河和線河和行又は内海行に乗りで「富貴」駅まで特急約40分、急行約50分。



たけとよ 伝説と偉人 ゆかりの地

— 散策指南書 —



プロフィール

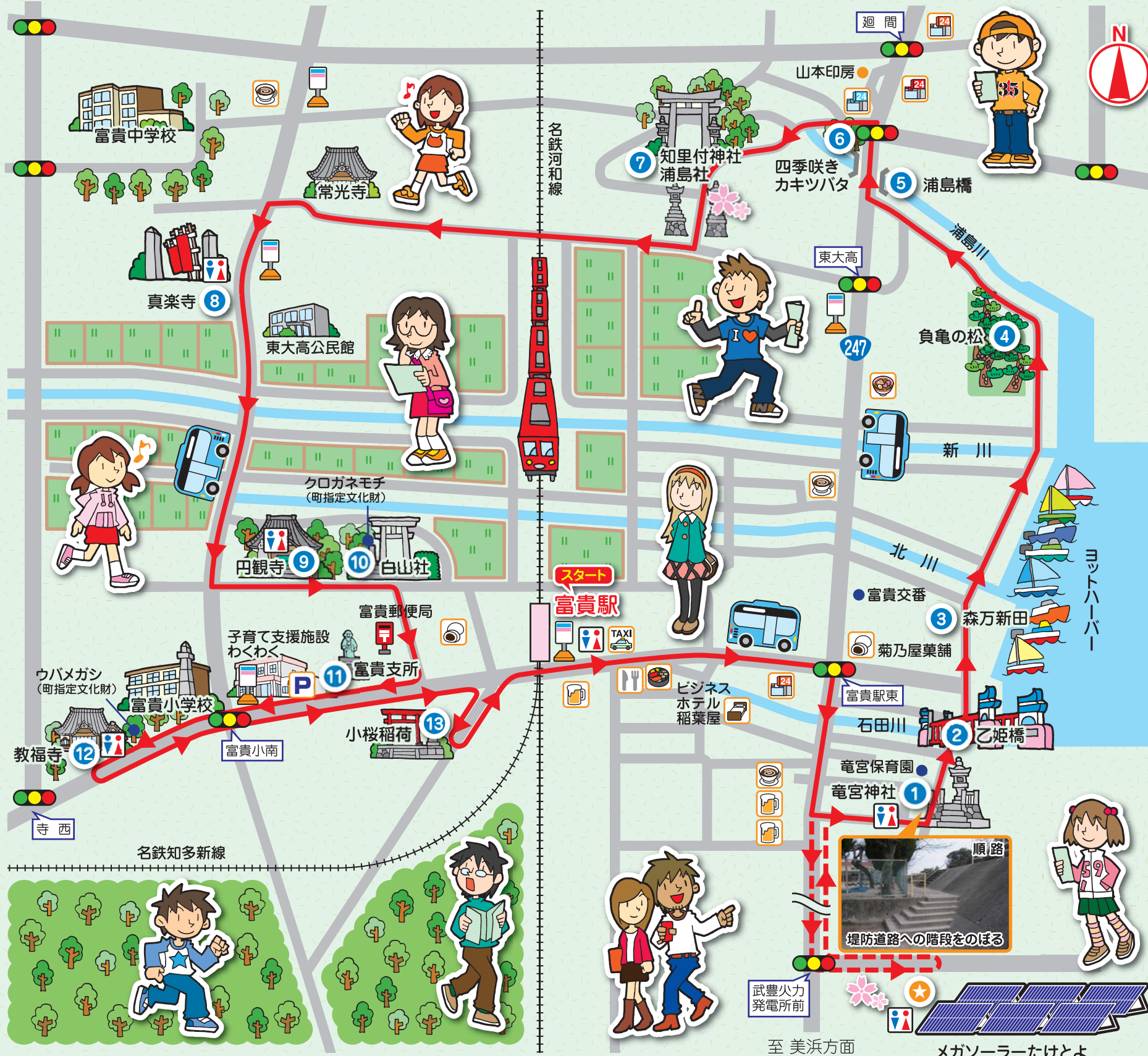
- 名前：武豊 乙姫(たけとよ・おとひめ)
 - 出身：愛知県知多郡武豊町
 - 血液型：A型
 - 身長：159cm
 - 趣味：水族館巡り、鉄道に乗ること、歌を歌うこと
- ※知多半島イメージキャラクター(武豊町)

■ 武豊町観光協会(武豊町商工会内)
愛知県知多郡武豊町字長尾山58番地
TEL.0569-73-1100 FAX.0569-73-7377 <http://taketoyo.info/>

■ 武豊町観光協会観光案内所(夢乃蔵内)
愛知県知多郡武豊町字道崎55番地6 ※名鉄知多武豊駅より徒歩4分
TEL.0569-77-9474 FAX.0569-77-2667

■ 武豊町役場産業課
愛知県知多郡武豊町字長尾山2番地
TEL.0569-72-1111 FAX.0569-73-0001

至 半田・名古屋方面



至 美浜方面

飲食店 宿泊 お土産 タクシー コミュニティバス停 ※コミュニティバスで散策コースの全ては巡れません。 ※コミュニティバスの運行表は観光案内所または、武豊町役場企画政策課にあります。

たけとよ 伝説と偉人 ゆかりの地 散策コース



浦島伝説の案内はわたしにまかせて!!

- スタート 名鉄富貴駅** (徒歩約8分)
- 1 竜宮神社** (徒歩約3分)
- 2 乙姫橋** (徒歩約3分)
- 3 森万新田** (徒歩約3分)
- 4 負亀の松** (徒歩約5分)
- 5 浦島橋** (徒歩約2分)
- 6 四季咲きカキツバタ** (徒歩約4分)
- 7 知里付神社 浦島社** (徒歩約4分)
- 8 真楽寺** (徒歩約6分)
- 9 円観寺** (徒歩約10分)
- 10 白山社 (富貴城址)** (徒歩約1分)
- 11 武豊町役場 富貴支所 (真右衛門像)** (徒歩約5分)
- 12 教福寺** (徒歩約6分)
- 13 小桜稲荷** (徒歩約10分)

※ () は参考徒歩時間です。所要時間 約70分 (※ゆっくりの人は約120分)